

『一級建築士受験 合格者たちの勉強法』第1版第1刷 正誤表

(2016.1 学芸出版社)

本書の内容に以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、誤記がございましたことを深くお詫び申し上げます。

P64「図2・5 Kさんのアウトプット図」

模試の問題用紙と記載していますが、一級建築士試験問題（平成25年度/学科（環境・設備）/〔No.6〕）の問題でした。書き込みがない状態の試験問題は下記、図2・5(a)になります。

〔No. 6〕 北緯35度の地点における日照・日射に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。ただし、終日快晴とし、日照・日射を妨げる要素はないものとする。

1. 夏至の日の可照時間は、北向き鉛直面より南向き鉛直面のほうが短い。
2. 冬至の日の終日日射量は、南向き鉛直面より西向き鉛直面のほうが小さい。
3. 東西方向に長い同じ高さの集合住宅が南北に二棟並ぶ場合、全住戸で冬至の日の日照時間を4時間確保するには、集合住宅の高さの約2倍の隣棟間隔が必要である。
4. 春分・秋分の日において、南中時の直達日射量は、南向き鉛直面より水平面のほうが小さい。

図2・5(a) 平成25年度/学科（環境・設備）/〔No.6〕

（公財）建築技術教育普及センターから掲載許諾を受けた問題

P106「図3・2 本試験当日の時間管理ノート」

図版が誤っておりました。正しくは下記の図版になります。

